

エコ・カレンダー 2007年12～2月分の診断結果をお届けします。

今回のポイントは5月1回のお届け明細で付与いたします。ご確認ください。

エコチェックシートの見方

あなたの電気・ガス・水道のCO₂排出量

12～2月分のCO₂排出量です。

グラフは、引き続きエコ・カレンダーを提出していただくと完成します。

みんなの電気・ガス・水道のCO₂排出量

エコ・カレンダーを提出された方全員の平均CO₂排出量です。

リユース・リサイクルCO₂排出削減効果

リユースびん・紙パックなどをパルスシステムに返却することで、資源が有効活用されます。ゴミとして捨ててしまうより、どれだけCO₂の量を減らすことができたかを表しています。



今期のエコライフ・チェックレーダー

エコ・カレンダーの「あなたのエコライフチェック12～2月分」を4つに分類し、回答を100点満点でグラフ化してあります。このグラフが大きな四角形に近づくほど「エコな暮らし」と言えるのではないのでしょうか。

エコカレンダーの数値報告

使用量(=CO₂発生量)は対前年比 電気は11.2%増、都市ガスは7.2%増

使用量	電気			都市ガス			LPガス			水道		
	12月	1月	2月	12月	1月	2月	12月	1月	2月	12月	1月	2月
本年	386.0	506.9	473.7	49.2	64.5	63.0	16.9	19.1	18.9	36.9	38.0	35.8
前年	377.2	468.6	402.1	47.7	62.1	54.8	13.4	17.2	16.5	36.1	37.7	35.2

全ての項目で前年より増加しています。1月中旬より平年を下回る気温が続きました。

3カ月間の対前年比1世帯当りのCO₂排出量は67.3kg-CO₂増(前年比7.1%増)となっています。

全国平均との比較では電気使用料は下回ったものの都市ガス使用料は上回っています 単位:円

	電気使用料の比較			都市ガス使用料の比較		
	07年12月	07年1月	07年2月	07年12月	07年1月	07年2月
パル	8,377	11,085	10,377	7,043	8,966	8,790
全国	8,562	11,063	11,429	6,606	7,997	8,926
差	-185	22	-1,052	437	969	-136

家計調査のデータは総務省統計局 家計調査(人口5万人以上の市を対象としました)。

問1: 砂漠の緑化に応用されている新素材の保水剤と、同じ化合物の使われているものはどれでしょうか? 正解率73%

- ・ スポンジたわし
- ・ 冷凍保存パック
- 紙オムツ
- ・ 使い捨てカイロ

緑化のため砂の保水力を高める方法として、高吸水性ポリマーを農業の土壌保水剤として利用する事が、最近盛んに行われています。従来、水を吸収する材料として、パルプ、布などが用いられてきましたが、1970年代に自重の1000倍という吸水力を有するポリマーが開発され、利用可能となったのです。これは当初、紙オムツや生理用品に使用されてきました。

問2: 砂漠の生き物は水のないところでどうやって生息しているのでしょうか? 正解率75%

- ・ どんな生き物でも砂漠で生きられる
- ・ 水を全く必要としない生物だから
- 特異な進化をした
- ・ 光合成をしている

生物が生きるためには水はなくてはならないものです。その水がない環境では、生息する生物も特異な進化をしています。例えば、オーストラリア砂漠ではミズタメガエルのように、少ない水分を貯蔵する機能を持つなど、特異な進化をして砂漠の環境に適応したもの以外は生息できません。地球上に砂漠のような土地が増えるということは、生物の生息できる適地が減ることを意味しています。

問3: 熱帯雨林が「緑の砂漠」と呼ばれているのはなぜでしょうか? 正解率42%

- ・ ラクダが生息しているから
- 土壌が貧弱だから
- ・ 緑の砂がたくさんあるから
- ・ 一年中緑の植物があるから

熱帯雨林では高温のために土壌中の有機物はすぐ分解してしまい、土壌は貧弱で厚さ2、3センチもあれば上々です。土壌が浅いので根も浅く、50メートルもある巨木でも、根の深さは1メートルもない場合が多いのです。樹木が茂っていれば、雨期の豪雨も何層にもなった葉や枝が雨足をいなし、地上に達するときには水滴となります。しかし、森林が失われると、貧弱な土壌は雨により流れ去ってしまいます。

問4: 生産上何の問題もなく農地として利用できるのは、世界の陸地のおよそ何%くらいでしょうか? 正解率59%

- 10%
- ・ 30%
- ・ 50%
- ・ 70%

耕作する上で何の支障もなく利用できる農地は、世界の陸地の10%を占めるにすぎません。これらの農地の地域別の分布を見ると、ヨーロッパが36%、中央アメリカが25%、北アメリカが22%、中央アジアが10%、東南アジアが14%、南アメリカ及びオーストラリアが15%です。このような農地は、おおむね、河口付近の沖積平野や平原にあり、商工業の発達しやすい立地条件と重なっています。人口が増加し商工業が発展してくると、その用途のために転用されやすい地形でもあります。

問5: 環境に優しい商品を選択して優先的に購入する消費運動は、一般的に何と言われているでしょうか? 正解率77%

- ・ グリーン・テクノロジー運動
- グリーン・コンシューマ運動
- ・ 製造物責任運動
- ・ 排出権売買制度

買い物などの際に、環境への配慮を商品選択などの消費行動の基準とするグリーン・コンシューマ運動(環境配慮消費運動)が世界各国で盛んになり、環境配慮をしている商業製品に、各国の基準でエコラベルやエコマークを付ける制度などが導入されています。イギリスのグリーン・コンシューマ・ガイドブックでは消費を避けるべき商品の中に、「他の国々、特に発展途上国に不利な影響を与えるような製品」が含まれており、砂漠化問題とも深い関連を持っています。